

株式会社アサヒメッキ

鳥取県鳥取市

需要獲得 ものづくり

ステンレス化学発色処理技術を革新 技術を利用し津山市産業発展に貢献

電気めっき等各種表面処理の製造・販売を行っている。用途は、自動車、機械、電気機器、建築金物、服飾金具等様々な部品への表面処理加工である。主な営業エリアは、兵庫、岡山、鳥取、島根、広島等で自社トラックによる納品と集荷を短納期で行っている。営業品目は、亜鉛メッキ、亜鉛ニッケル合金メッキ、アルマイト、黒染め、ステンレス電解研磨、ステンレス酸化発色である。ステンレス関係は商社としてオロル株式会社が窓口。

●所在地	鳥取県鳥取市南栄町1	●設立	1958年
●電話/FAX	0857-53-4561/0857-37-4115	●資本金	2,600万円
●URL	https://asahimekki.jp/	●従業員数	65人
●代表者	代表取締役 木下 貴啓		



ステンレス化学酸化発色処理の技術革新

ステンレス自体を発色させる技術で耐食性を向上させることに加え、干渉作用を改良し、塗装のように色調を均一化することで材料の装飾性や識別性を高める技術の特許取得している。さらにこの技術をブランド化するため、販売会社（オロル株式会社）を2018年に設立し、ステンレスの表面処理の高付加価値化をアピールしている。また経済産業省が2014年に創設した「新市場創造型標準化制度」の活用で迅速なJIS化に動くことで、国内外で認知度が低いステンレス発色技術の信頼性を高めている。



独自技術の知財と標準化戦略

ステンレス化学酸化発色処理の用途拡大

地元鳥取県や市などへの働きかけで大手企業等に向けて同技術を訴求。新たな用途開発のきっかけを得る場としての交流を図っている。その結果、医療関連における病院等施設、高精度画像診断装置、医療機器、医療器具等、自動車関連における内装、インテリア関係等、電気機械関連における制御盤カバー、電気照明器具部品等、食品関連における食器、厨房機器、器具等と多様な分野で使用されるステンレス素材との組合せを実現し、ステンレス素材のデザイン性向上に貢献している。



あらゆる分野で活用できるステンレス発色技術の可能性

人材育成・地域雇用等への貢献

山陰両県のめっき技術の向上や従事者の育成に向け、山陰地区鍍金工業会（同会は1980年「山陰地区鍍金工業組合」に法人化）を設立。めっき従事者の資格制度の導入に尽力。電気めっき作業技能検定実技試験が実施できる設備導入などで多くのめっき技能士を育成。また従来よりステンレス産業が盛んな岡山県津山市では、様々な加工工程を有するステンレス加工企業が存在し、技術的にも優れている企業が多い。そこで産・学・官ネットワーク「津山ステンレスクラスター」に参画し地域の産業発展に貢献している。



人材育成と地域雇用への貢献